国語科学習指導案

日　時　令和○年○月○日（○）
５校時　１３：４０～１４：２５
学校名　小学校
対　象　第５学年
会　場　会議室
授業者　○○　○○

１　単元名　「情報にまどわされない！」メディアとの関わり方について考えよう
教材名　「想像力のスイッチを入れよう」（光村図書）

２　単元の目標

・　原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕⑵ア

・　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C⑴オ

・　文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C⑴カ

・　言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

３　本単元における言語活動

文章を読んで、考えたことについて話し合う。（関連：〔思考力・判断力・表現力等〕C⑵ア）

４　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（(2) ア）	①　「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（C（1）オ） ②　「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C（1）カ）	①　積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について話し合おうとしている。

５　指導観

⑴　単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年３月告示）、国語〔第５学年及び第６学年〕　２内容〔思考力、判断力、表現力等〕C　読むこと⑴

> オ　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
> カ　文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

を受けて設定した。

本単元は、読むこと⑴オ・カを重点指導事項として学習を進める。事例と意見との関係を押さえて筆者の考えを読み取った後に、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめ、友達と交流するという言語活動に取り組む。その際には、本文中で情報を受け取る側が大切にすべき４つの観点を基に考えるようにする。

４つの観点とは、『まだ分からないよね。』『事実かな。印象かな。』『他の見方もないかな。』『何がかくれているかな。』のことである。

⑵　児童観

「言葉の意味が分かること」「固有種が教えてくれること」の学習では、筆者の考えに対して自分の考えを書くという学習活動を行った。「共感した。」「納得した。」と意見をもつことができていたが、理由を問うと迷う児童がいる。

本単元では、文章を読んで理解したことに基づいて、メディアとの関わり方について考えていく。本学級の児童は、話し合ったり、友達の話を聞いたりすることが好きな児童が多い。また、友達の意見を聞くと考えが広がると感じている。そこで、友達の意見を聞く時間をとったり、教師が問い返ししたりすることで、考えに対する理由付けができるようにする。

⑶　教材観

本教材は、メディアから発信される情報を正確に受け止めるために、受け手側に必要な努力について、事例を挙げながら考えを述べている。分かりやすい事例を挙げ、比喩を用いながら主張を展開することで、読み手を説得しようとしている。

筆者の主張は、題名と同じ言葉が使われているため、一見すると捉えやすいが、比喩表現が使われているため、表面的な理解に留まることが考えられる。そこで事例を一つずつ見ていくことで、確実に理解できると考えた。

教材文に書かれているメディアに対する関わり方は、日常生活の中で実践していくことが可能である。

文章構成図

終わり	中		始め		構成
⑯・⑮	⑭～⑦		⑥～①		段落
	サッカーチームの監督就任について報道の事例		図形の見え方	マラソン大会	事例
事例に基づいた筆者の考え ・情報を受け取る側は、「想像力のスイッチ」を入れる努力をしなければならない。	想像力のスイッチを入れること ・『まだわからないよね。』―結論を急がないこと ・『事実かな、印象かな。』―一つ一つの言葉について、事実かそうでないかを考える。 ・『他の見方もないかな。』―他の見方もあり得ることに気付く。 ・『何がかくれているかな。』―メディアが伝えていないことについても想像力を働かせる。		与えられた情報を事実のすべてだと受け止めるのではなく、頭の中で「想像力のスイッチ」を入れてみることが大切。	同じ出来事でも、何を大事と思うかで、発信する内容が違ってくる。	筆者の主張

6　年間指導計画における位置付け　（第５学年　読むこと）

時期	単元名・「教材名」	重点指導事項
５月	文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう 「言葉の意味が分かること」	ア　事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
10 月	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「固有種が教えてくれること」	ウ　目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
１月	「情報にまどわされない！」メディアとの関わりについて考えよう 「想像力のスイッチを入れよう」	オ　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ　文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

7　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

過程	時間	学習目標	学習活動	評価規準 （評価方法）
学習目的の見通し	第１時	メディアとの関わりについて考え、学習課題を立てることができる。	１　メディアとの関わり方について自分の考えをもつ。 ２　単元を通して学ぶことを理解する。 「情報にまどわされない！」メディアとの関わり方について考えよう。 ３　「想像力のスイッチを入れよう」を読む。 ４　初発の感想から、学習課題を設定する。 ５　本時を振り返り、学習の見通しをもつ。	
構造と内容の把握	第２時	事例と筆者の主張の関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を把握することができる。	１　本時の学習課題を確認する。 〈めあて〉 事例に注目して、三つのまとまりに分けよう。 ２　文章全体を、大きく三つのまとまりに分ける。 ３　どんな事例が述べられているかを確認する。 ４　本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	ア―①（ノート記述の分析・発言分析）
	第３時第４時	事例と意見との関係を叙述を基に押さえ、筆者の主張を捉えることができる。	１　本時の学習課題を確認する。 〈めあて〉 事例を使って、筆者は何を伝えようとしているのだろうか。 ２　事例に対する筆者の意見を捉える。 〈めあて〉 筆者が伝えたいことは何だろうか。 ３　要旨をまとめる。 ４　本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	ア―①（ノート記述の分析・観察）
精査・解釈　考えの形成・共有	第５時（本時）	文章を読んで理解を深めたことを基に考えをまとめることができる。	１　本時の学習課題を確認する。 〈めあて〉 想像力のスイッチを入れて記事を読み、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめよう。 ２　筆者の考えを振り返る。 ①　「まだ分からないよね。」 ②　「事実かな。印象かな。」 ③　「他の見方はないかな。」 ④　「何がかくれているかな。」 ３　教師自作の文章を使い、四つの観点で読む。 ４　メディアとの関わり方について、自分の考えをまとめる。 ５　本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	イ―①（ワークシート記述分析・ノート記述の分析・発言分析）
	第６時	メディアとの関わり方についてまとめた文章を読み合って意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	１　本時の学習課題を確認する。 〈めあて〉 書いた文章を友達と読み合い、感じたことを伝え合おう。 ２　メディアとの関わり方について、自分の考えを確認する。 ３　グループに分かれて文章を読み合い、感想を伝え合う。 ４　交流を振り返って、取り入れたい友達の考えなどをまとめる。 ５　本単元を振り返る。	ウ―①（ワークシート記述分析・発言分析・観察） イ―②（ワークシート記述分析・発言分析）

８　指導に当たって

班テーマ　主体的・対話的な学びを目指した指導～思考を促す学習課題づくり～

⑴　教材・導入の工夫

単元導入時に教師自作の文章（以下参照）を紹介する。文章から考えたことを発表し、メディアとの関わり方について興味をもって取り組めるようにする。児童の発言から、「『情報にまどわされない！』メディアとの関わり方について考えよう」という言語活動を設定していく。

〈教師自作の文章〉

「米が不作に？」

みなさんが毎日のように食べているお米について、度重なる大型台風の影響で不作になるのではないかと話題になっている。

日本人の一日当たりの米の消費量は、約１４４０万キログラムと言われており、今後、足りるかどうか不安である。新潟県のとある自治体では、米のラベルが大量に余っているらしい。

新潟県では、９月に行われる予定だった、お米を使った祭り「ザ・コシヒカリまつり」の中止が決まった。地元の人に話を聞くと、「毎年楽しみにしていたので、とても残念です。炊きたてのコシヒカリが食べたかったです。」と残念そうに言っていた。

２０○○年８月○○日　串間新聞

参考資料：農林水産省ホームページ

⑵　メディアとの関わり方について考えを形成しやすくするための工夫

第３、４時間目の振り返りの際に筆者の主張と自分の経験を照らし合わせ、共感することがないかについて考える活動を行う。その中から、メディアとの関わり方について考える際に、ヒントになりそうなものを教室内に掲示し、メディアとの関わり方について自分の考えをもちやすくする。

また第５、６時間目では、単元導入時にも扱った教師自作の文章を使い、本時で読み取った「想像力のスイッチ」を用いて、気付いたことについて話し合う。その後にメディアとの関わり方について考えることで、自分の考えをもちやすくなると考えた。

今回使う教師自作の文章は、筆者が主張している「想像力のスイッチ」を用いるといろんな見方ができるように作成した。

〈本時で掲示する教師自作の文章〉

「米が不作に？」

→題名にまどわされない。（その他）

みなさんが毎日のように食べているお米について、度重なる大型台風の影響で不作になるのではないかと話題になっている。

→まだ分からない。（①②）

日本人の一日当たりの米の消費量は、約１４４０万キログラムと言われており、今後、足りるかどうか不安である。

→印象であり、事実ではない。（①②）

新潟県のとある自治体では、米のラベルが大量に余っているらしい。

→印刷所が間違って印刷してしまったかもしれない。（③④）

新潟県では、９月に行われる予定だった、お米を使った祭り「ザ・コシヒカリまつり」の中止が決まった。

→台風の影響で中止になったのではないかな。（③④）

地元の人に話を聞くと、「毎年楽しみにしていたので、とても残念です。炊きたてのコシヒカリが食べたかったです。」と残念そうに言っていた。

→米が食べられないと印象を与えているが、お祭りで食べられないだけではないか。（②③）

２０○○年８月○○日　串間新聞

参考資料：農林水産省ホームページ

※（　）内は、下記の想像力のスイッチの番号です。

①「まだ分からないよね。」　②「事実かな。印象かな。」

③「他の見方はないかな。」　④「何がかくれているかな。」

９　本時（全６時間中の第５時）

⑴ 本時の目標

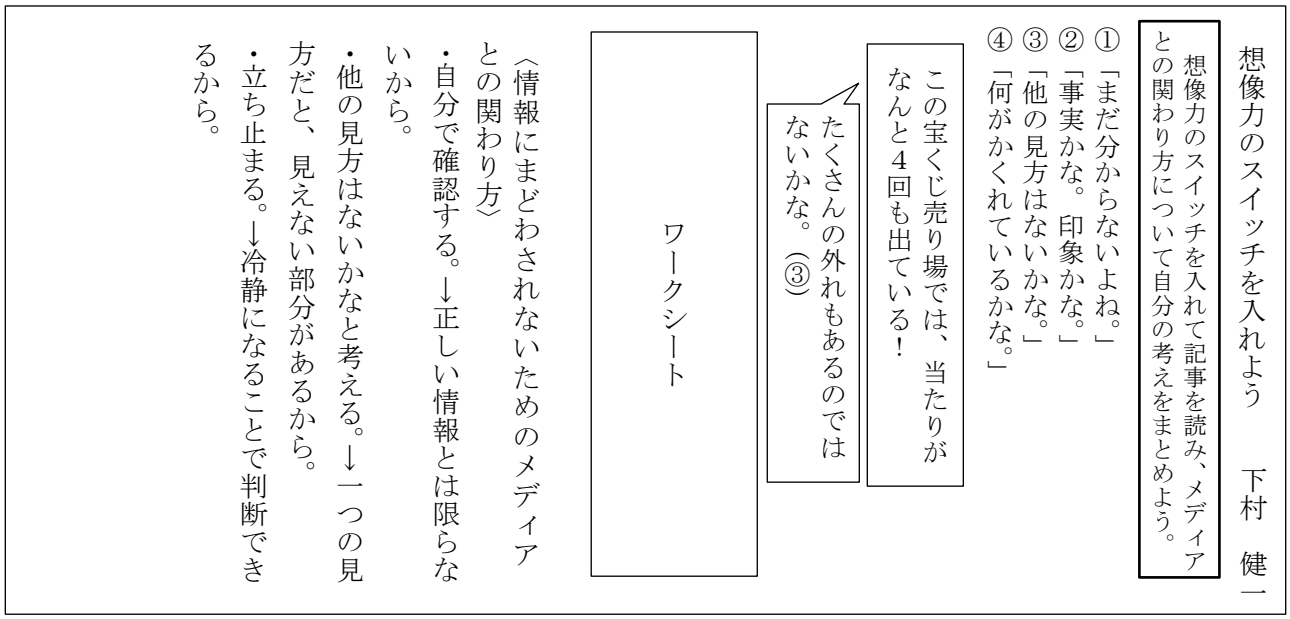
文章を読んで理解を深めたことを基に、自分の考えをまとめることができる。

⑵　本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 ３分	１　学習課題を確認する。	・　児童がいつでも確認できるように、教室内に単元の学習課題を掲示しておく。	
	想像力のスイッチを入れて記事を読み、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめよう。		
展開 39 分	２　筆者の考えを確認する。 ・　「何がかくれているかな。」というスイッチを使うと、「この宝くじ売り場では、当たりがなんと４回も出ている！」と言っているが、たくさんの外れもあるのではないかなという見方をすることができます。	・　一つの具体的な情報を例に挙げて確認する。	
	３　想像力のスイッチを入れて教師自作の文章を読んだ時に気付いたことをワークシートに書く。 ・　①のスイッチを使うと、米が不作になるかどうかはまだ分からないことが考えられます。 ・　題名にまどわされて、不作だと思い込んでしまう危険があると思います。	・　想像力のスイッチを使わなくても、気付いたことがあれば書くように伝えることで、５の活動につなげる。	
	４　班（３～５人）でワークシートを見合って、共有する。	・　友達の考えを聞いて、付け足してもよいことを伝えることで、考えを広げられるようにする。	
	５　情報にまどわされないためのメディアとの関わり方について、自分の考えをノートにまとめる。 ・　自分で確認するということが大切だと思います。なぜなら、情報が正しいと思い込んでしまうことから、まどわされてしまうからです。筆者が言うように、「まだ分からな	・　自分の意見、理由の順で書くことを伝え、自分の考えを書きやすくする。 ・　自分の意見を書くときは、「想像力のスイッチ」という言葉を使わないで書くようにして伝える。 ・　迷っている児童に対しては、筆者の考えで共感したこ	イ－①　「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 （ワークシート記述分析・ノート記述の分析・発言分析）

	いよね」という姿勢で情報を受け取ることが大切であると思います。 6　全体で共有する。	とや、自分の経験を想起するように促す。 ・　迷っている児童が多い場合は、全体で共有する時間を適宜とるようにし、意見をもてるようにする。 ・　全体で共有する際には、考えが広がるような意見を意図的に数名指名し、考えを持てない児童の手助けとなるようにする。	
まとめ 3分	7　学習の振り返りをする。	・　友達の考えから気付いたことや、分かったことについて振り返り、次の時間の学習につなげられるようにする。	

⑶　板書計画



⑷　授業観察の視点

・　メディアとの関わり方に対する自分の考えをもてるようにするために、教師自作の文章を使ったことは有効であったか。